

## 長浜市八雲書院資料調査報告<瓦編1>

古山明日香・福井知樹

### 目次

1. はじめに
2. 「八雲書院」について
3. 田中礎氏について
4. 採集瓦について

### — 論文要旨 —

「八雲書院」とは、浅井郡田根村大字上野（現長浜市上野町）出身の田中礎氏が収集した考古資料一式のことである。同氏は、昭和27年(1952)に収集した資料群を「郷土史研究に役立ててほしい」という思いから、浅井町立浅井中学校（現長浜市立浅井中学校）に寄贈した。寄贈された資料群は「八雲書院」と命名され、浅井中学校から地域資料の魅力を発信していくこととなった。平成6年(1994)に「八雲書院」は浅井中学校から浅井町歴史民俗資料館（現浅井歴史民俗資料館）へ移管された。

「八雲書院」の資料は、浅井中学校や郷土史研究者らによって昭和56年(1981)に整理がされていたが、その時点で資料の欠番が存在していた。また、その後に資料の追加などもあったため、寄贈時の目録（『八雲書院藏品目録』）と資料内容などの不一致が生じていたことから、再整理を行うこととした。この整理は、現段階における『八雲書院藏品目録』の作成を目的としている。

田中氏が収集した資料は、滋賀県内だけではなく、京都府、奈良県、大阪府や北海道など広範囲におよび、出土地など当時の情報をほぼ明確に示している。

収集資料のうち、本稿でも扱う瓦は、古代寺院や城郭・神社など古代から近世・近代まで幅広い時代のものが採集されている。また、地域としては地元の浅井郡のみならず、田中氏が奉職していた大津市の高穴穂神社やその周辺など幅広い地域におよぶ。

なお本稿では、収集資料の内、軒瓦・道具瓦（『八雲書院藏品目録』のNo.81～120）を中心に整理を行い、その成果について報告する。

### キーワード

飛鳥時代 白鳳時代 奈良時代 平安時代 室町時代 安土桃山時代 江戸時代 八雲書院 田中礎  
軒丸瓦 軒平瓦 道具瓦